



四国

「お遍路さん」で有名な四国八十八ヶ所霊場参りを5年かけて結願成就され、遍路大使に任命された掛川市在住の久保田彰さん(70歳)を取材しました。



四国

定年退職で現役のサラリーマン生活を終え、フリーな生活になったところで、幼なじみから声かけがあり「何かをやり遂げたという達成感を味わいたいね。」ということになりました。「旅行はどうか?」「単なる旅行ではつまらないよね。」高校生時代の仲間も寄り合っただけで考えていた時に、仲間の一人から「四国のお遍路さんをしてみようか?」との提案がありました。その提案はすぐにまとまり実行することになりました。

色々と事前に調べたところ、年齢的にすべてのコースを歩いて巡る「完璧な歩きお遍路」は大変だということで、自分たちにあったやり方で巡ってみようということになりました。



四国

四国

そこで、まず四国の丸亀駅まで時間はかかるが安くお得な「青春18きっぷ」(11,850円)を活用することにしました。丸亀駅までの乗り換え回数は8回~10回程度になり、所要時間は10時間程度になりました。

また、「青春18きっぷ」は使用する時期に制限があるため、春は4月、冬は12月に決め1年に2回の霊場参りをする計画を立てました。また、往復で1日ずつ要するので中3日で霊場参りをするという合計5日間のプランとしました。そして1回で3日間の霊場参りをするにすると最大10ヶ所程度になり、年2回とすれば20ヶ所の霊場参りをするにとなりトータルでも5年あれば結願出来るとの計画をしました。

さらに、「完璧な歩きお遍路」は難しい大変なので少し工夫をして4泊を同じ宿にしてその宿を起点に歩きお遍路をすることにしました。お寺と宿の移動にはレンタカーを活用しました。また、レンタカーを活用したのは、歩きお遍路をしている最中にアクシデントがあったらいけないので、レスキュー隊ということで準備しました。一人が車を運転(交代制)しながら残りのメンバーは歩きお遍路をすることにしました。歩きお遍路をすることに拘ったのはメンバー4人とも山歩きが好きで、比較的険しいと言われている「遍路ろがし」や「遍路道」をどうしても歩きたいとの希望があったからです。

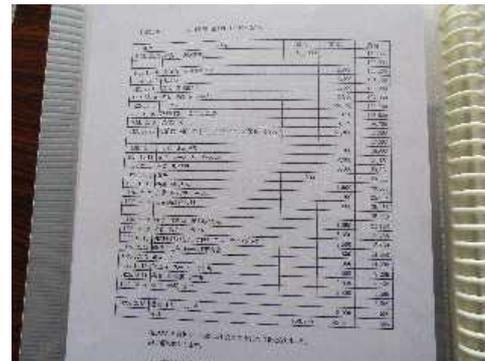


四国

四国

このように毎回、事前に綿密な行動計画・予算計画などを立て平成25年12月～スタートしました。途中、2回ほどメンバー自身やメンバーの身内にアクシデントがあり行けない時がありましたが、平成30年4月の霊場参りをもって合計8回の歩きお遍路を結願成就することが出来ました。

寺名等	聖地間の距離	車の所要時間	歩行時	計所要時間
第1霊場山門	距離:約1km	所要時間:約5分	30	35
第2霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約10分	80	90
第3霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約15分	140	155
第4霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約10分	40	40
第5霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約10分	100	100
第6霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約10分	20	20
第7霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約10分	80	90
第8霊場堂上	距離:約1km	所要時間:約10分	50	60

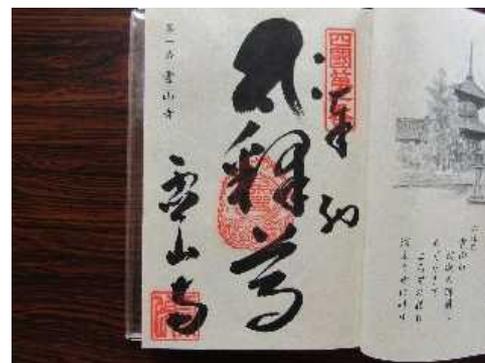


四国

四国

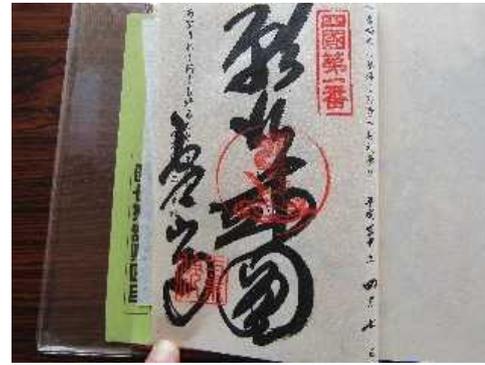
お遍路の作法

1. 「これからお参りさせていただきます」の気持ちを込めて、まずは山門や入口にて一礼。
2. 次に、手水舎(ちょうずや)でひしゃくに水をひとすくい、左手→右手の順に水をかけ、左手で受けた水で口をすすぎ、残りの水をひしゃくの柄に流してすすぐ。
3. 輪袈裟(わけざ)を首にかけ、数珠を手にしたらお参りをする。
4. その後、本堂へ向かい納札は納札箱へ、写経は写経箱へそれぞれ納めましょう。納札はひとり1枚。日付、住所(市町村名ぐらいまで)、名前を前もって書いておきましょう。裏に願い事や般若心経を書いておく人もいます。
5. 次は灯明、線香、おさい銭。灯明は仏様の知恵を、線香は仏様の徳をいただくために上げます。ロウソクは1本、線香は通常3本とされている。
6. いよいよここからが本番! お経を読みます。合掌礼拝し、覚えていても経本を手に持って読みながら、ご本尊とお大師さまを念じつつ読経します。
7. 最後は納経受付。参拝後に納経所で、納経帳に揮毫と朱印をいただく。寺の御本尊が描かれた御姿(おすがた)もいただき御影保存帳などにしまえます。料金は納経帳300円、掛軸500円、判衣200円。



四国

四国



四国

四国

そして、結願成就した多くのお遍路さんが報告のために訪れるという弘法大師が御入定されている高野山の聖地「奥之院」に平成30年12月にお参りしました。奥之院では四国八十八ヶ所の納経帳にご朱印をいただきました。これをもって「四国八十八ヶ所霊場参り」を完達することができました。



四国

四国

そして、メンバー全員の目標であった「やったぞ！という達成感」を味わうことが出来ました。また、役割分担を事前に決めていた訳ではありませんでしたが、行動計画・予算計画を立てる係、思い出アルバムを作る係、現地での色々な世話をする係など自然と役割分担ができました。メンバー同士の絆もさらに深まりました。



四国

四国

ここでエピソードの一部をご紹介します。

その1. 「ひろめ市場」

高知に入ったら夜のお食事は「ひろめ市場」へぜひお立ち寄り下さい。美味しい食べ物や新鮮な海産物、美味しいお酒がたくさんあります。一日の疲れを癒やすことができます。

その2. 「おもてなし」

「お憩い券」—この券一枚、一名様にて季節のお菓子とお抹茶を無料にてお召し上がりいただけます。盛壽乃郷(お菓子処福屋)ありがたい「おもてなし」です。



四国



四国

その3.「外国人」

多くの外国人にも会いました。

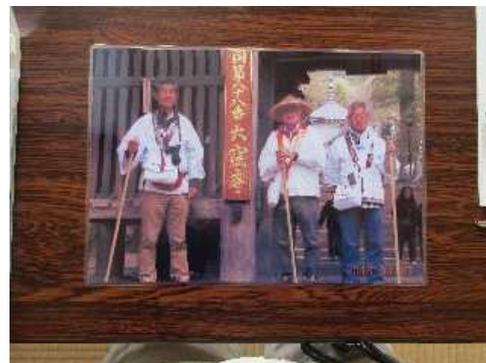
この写真の方はオランダから来た方です。一緒に記念写真を撮りました。

その4.「遍路の装束」です。

今でも纏うと身が引き締まります。



四国



四国

最後の写真は、八十八番目の大窪寺で霊場参りを結願したメンバーの皆さんです。(平成30年4月)

「達成感」の余韻が残る中、今度は「別格二十ヶ所霊場参り」を計画して四国八十八ヶ所霊場参り(88ヶ所)+別格二十ヶ所霊場参り(20ヶ所)=108ヶ所霊場参りを結願し、人間が持っていると言われる108つの煩惱を払いたいということで計画をしています。また、第66番札所「巨龍山(きょりゅうざん)千手院(せんじゅいん)雲辺寺(うんぺんじ)」は四国八十八ヶ所霊場のうち最も高い標高911メートル、四国山脈の山頂近くにある霊場で、「遍路ころがし」と呼ばれる難所とされています。そこへもう一度お参りしたいとの思いがありこの札所を含めて別格20ヶ所霊場参りをする計画です。時期としては2019年4月、12月、2020年4月の3回の訪問で結願する予定です。メンバーの皆さんの健康長寿を祈っています。

読者の皆さんもこのようなプランを是非ご参考にされてはいかがでしょうか？

(お問合せ先 久保田 彰さん 0537-24-5864)

小笠・榛南地区 特派員 高井 豊